

株式会社 西谷建設

令和 5年度 環境活動レポート



作成日： 令和 6年 6月 7日

更新日： 令和 6年 8月 2日

ごあいさつ

青森県平川市に本社を構える(株)西谷建設は昭和36年に初代社長 西谷則雄によって総合建設業として創業し、今現在、青森県、平川市等の官公庁の仕事を主体とした会社であります。創業62年の重みを感じ、尚且つ会社の経営理念・目標にもある【地域の住み良い環境づくりに貢献します】ということを第一に考え、これからさらに弊社一同初心にかえり、努力を続けていく所存であります。これからもよろしくお願いいたします。

株式会社 西谷建設
代表取締役 西谷 浩

I 環境方針

＜環境理念＞

株式会社 西谷建設は当社の経営理念・目標に基づき全ての工事施工において省エネルギー・省資源・リサイクル(3R)の推進を図り、産業廃棄物の削減、資源エネルギーの節約について自主的・積極的・継続的に推し進め、環境保全活動に会社単位として寄与します。

＜環境保全への行動指針＞

- ① 省エネルギー、省資源を心がけ、二酸化炭素排出量を削減します。
- ② 産業廃棄物の発生を抑え、建設副産物のリサイクルを推進します。
- ③ 水資源の節約・削減します。
- ④ 化学物質使用量の削減を目指します。
- ⑤ グリーン購入の推進及び拡大します。
- ⑥ 当社の施工・構築する構造物及び設計成果物における環境配慮を推進します。
- ⑦ 環境関連法規制を遵守します。
- ⑧ 当社全体で環境保全に対して継続的な環境改善の取組みを誓約します。
また、環境経営のしくみを毎年見直し継続的に改善します。
- ⑨ 環境への取組を公表することで社内全体での取組みの再認識を図るとともに、地域社会の一員として地域の環境活動及び施策に積極的に参加します。

作成日： 平成28年 5月 25日
更新日： 令和 6年 6月 7日

代表取締役 西谷 浩

Ⅱ 組織の概要

- 名称及び代表者名

株式会社 西谷建設
代表取締役 西谷 浩

- 所在地

本社 青森県平川市尾上栄松95
TEL 0172-57-2024
FAX 0172-57-4894
e-mail knishi@cocoa.ne.jp
資材倉庫 青森県平川市猿賀池上15-1
資材置場 青森県平川市新屋町北鶉野38

- 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 西谷 浩
土木部門担当者 岩淵 功喜
社内部門担当者 松岡 照世

- 事業活動の内容

総合建設業 建設業許可: 青森県知事許可(特-28)第491号
土木工事業 / とび・土工工事業
舗装工事業 / 水道施設工事業

- 事業規模

本社従業員 32名 延床面積 70m²
令和元年度売上高 420百万円

項目	本社	資材倉庫
従業員	32名	無人
延床面積	70m ²	376m ²

- 対象範囲(認証・登録範囲)

本社及び資材倉庫、資材置場を対象範囲とする。

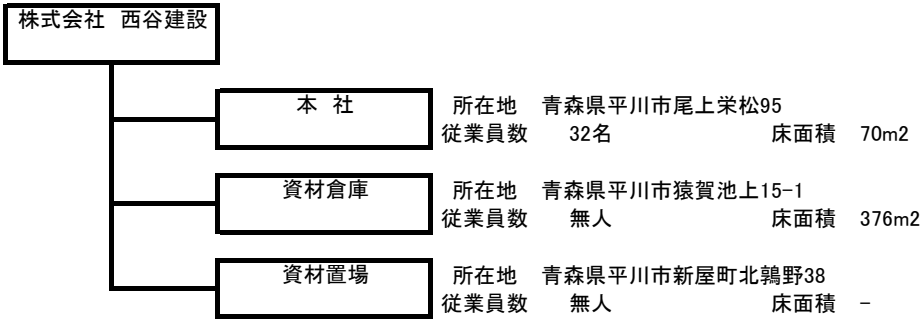
- 事業年度

4月1日 ～ 3月31日

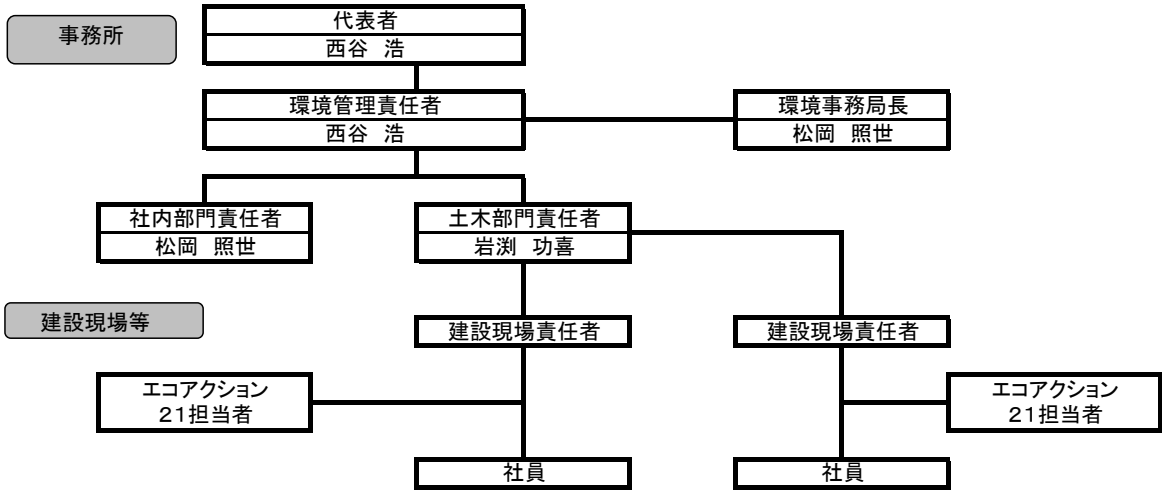
- 環境活動レポートの対象期間(発行日)

今回の活動レポートは、令和5年4月から令和6年3月までについて報告いたします。

株式会社 西谷建設 組織図



株式会社 西谷建設 EA21実施体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

区分	役割・責任・権限表
代表者（社長） 西谷 浩	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者の任命。 ・環境方針の作成。 ・課題とチャンス明確化。 ・実施体制の構築。
環境管理責任者 西谷 浩	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・問題点の是正、予防処置の指示・確認。 ・環境経営システム状況を代表者へ報告する。 ・社員への教育 ・環境経営システム全体の構築・運用・維持に関する代表者への報告
環境事務局 松岡 照世	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動チェック表等の実績集計。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者及び 現場責任者 岩淵 功喜 岩淵 浩喜 吉本 孝司 三上 剛志	・環境方針の現場への周知。 ・教育訓練の実施。 ・環境活動計画の立案及び途中経過、達成状況の報告。 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・緊急時のための訓練の実施、記録の作成。 ・現場における従業員の意識改革のための教育。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性の自覚。 ・環境方針・目標を各自が把握し、自主的・積極的に環境活動へ参加する。 ・会社、現場において常に報告・相談をする。

Ⅲ 環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

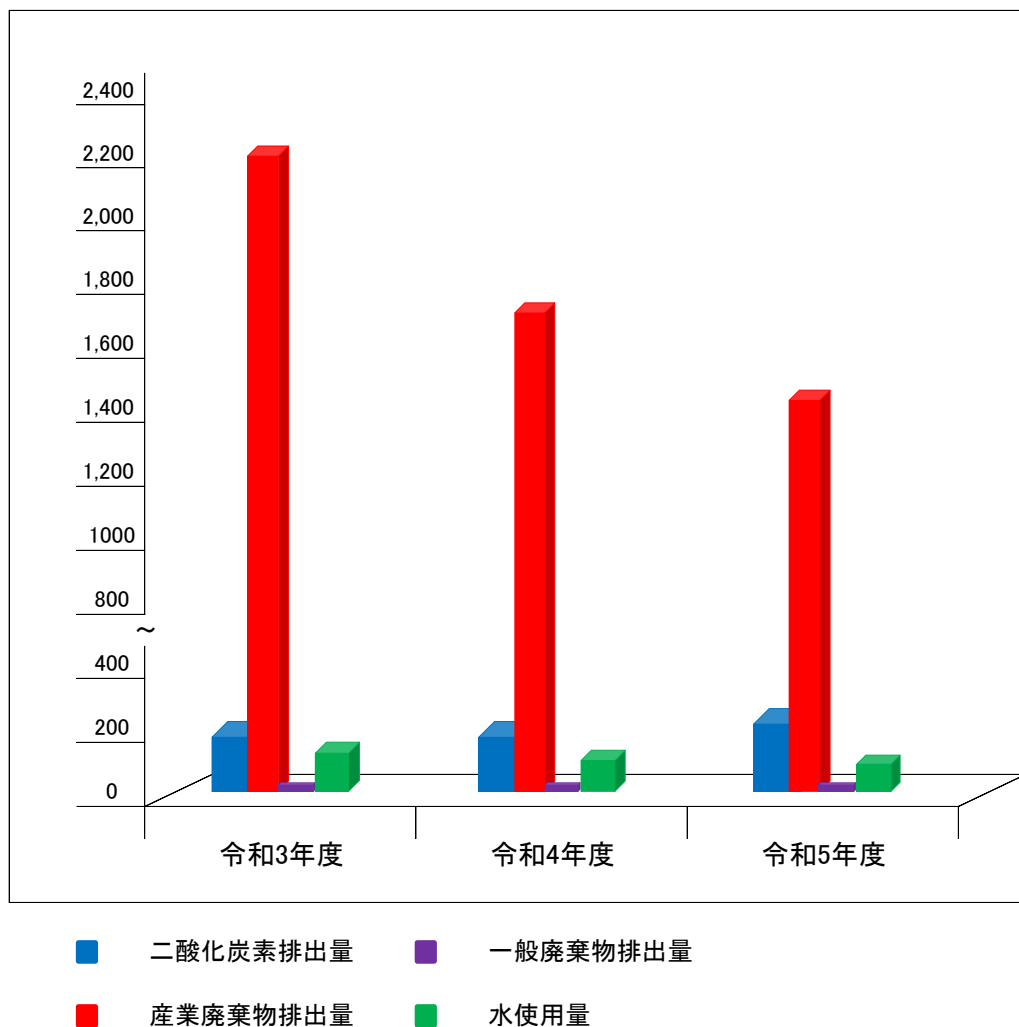
項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	t-CO2	210.1	209.1	257.3
廃棄物排出量	t/年	2,229.2	1,732.3	1,470.0
産業廃棄物排出量	t/年	2,229.0	1,732.0	1,469.8
一般廃棄物排出量	t/年	0.19	0.26	0.23
水使用量	m3/年	156.0	141.0	111.0

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和3年度は東北電力の排出係数 0.523kg-CO2/Kwh

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和4年度は東北電力の排出係数 0.457kg-CO2/Kwh

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和5年度は東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/Kwh

環境負荷の実績状況



2 環境目標の設定

当社では、令和4年度を基準年度(令和4年4月～令和5年3月)として、中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2-1 環境目標(本社事務所)

項 目	令和4年度		単年度目標			中長期目標
	基準値	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5～7年
二酸化炭素排出量	34,854.3	Kg-CO2/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	263.5	Kg/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
建設リサイクル率		%/年				
総排水量(水資源投入量)	141.0	m3/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
化学物質使用量削減		t/年	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			左記に同じ
グリーン購入	2	件数/年	環境配慮製品を優先して購入する。			左記に同じ
環境に配慮した施工の推進		件数/年				
地域貢献活動	3	件数/年	3件	3件	3件	3件

表2-2 環境目標(建設現場)

項 目	令和4年度		単年度目標			中長期目標
	基準値	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5～7年
二酸化炭素排出量	168,017.9	Kg-CO2/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	0.0	Kg/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
建設リサイクル率	99	%/年	99	99	99	99
水使用量		m3/年				
化学物質使用量削減		t/年	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			左記に同じ
グリーン購入	0	件数/年	環境配慮製品を優先して購入する。			購入増に努める
環境に配慮した施工の推進	0	件数/年	環境に配慮した施工・工法を推進する。			左記に同じ
地域貢献活動	2	件数/年	2件	2件	2件	2件

表2-3 環境目標(資材置場)

項 目	令和4年度		単年度目標			中長期目標
	基準値	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5～7年
二酸化炭素排出量	6,048.4	Kg-CO2/年	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減

3. 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

令和4年度(4月～3月)までを基準年として、令和5年度実績についての評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(本社事務所)

項 目	単位	基準年 令和4年度	令和5年度			環境目標の 達成状況	
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	34,854.3	1%削減	34,505.8	33,825.3	○	
一般廃棄物排出量	Kg/年	263.5	1%削減	260.9	225.2	○	
建設リサイクル率	%/年					-	
水使用量	m3/年	141.0	1%削減	139.6	111.0	○	
化学物質使用量削減	t/年	0	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			0	-
グリーン購入	件数/年	2	環境配慮製品を優先して購入する。			-	-
環境に配慮した施工の推進	件数/年						
地域貢献活動	件数/年	3		3	3	○	

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和5年度東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/Kwh

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(建設現場)

項 目	単位	基準年 令和4年度	令和5年度			環境目標の 達成状況	
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	168,017.9	1%削減	166,337.7	218,564.0	×	
一般廃棄物排出量	Kg/年					-	
建設リサイクル率	%/年	99	-	99	100	○	
総排水量(水資源投入量)	m3/年					-	
化学物質使用量削減	t/年	0	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			0	-
グリーン購入	件数/年	0	環境配慮製品を優先して購入する。			0	-
環境に配慮した施工の推進	件数/年	-	環境に配慮した施工・工法を推進する。			-	-
地域貢献活動	件数/年	2		2	2	○	

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和5年度東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/Kwh

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(資材置場)

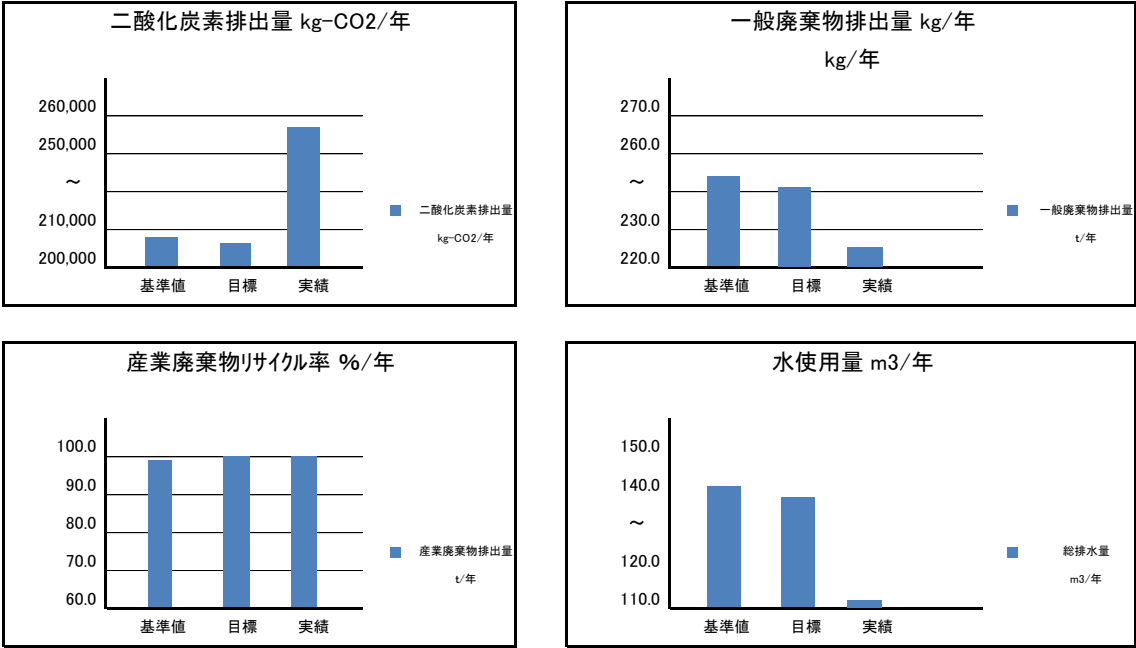
項 目	単位	基準年 令和4年度	令和5年度			環境目標の 達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	6,048.4	1%削減	5,987.9	4,936.5	○

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和6年度東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/Kwh

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(全体)

項 目	単位	基準年 令和4年度	令和5年度			環境目標の 達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	208,920.6	1%削減	206,831.4	257,325.8	×
一般廃棄物排出量	Kg/年	263.5	1%削減	260.9	225.2	○
建設リサイクル率	%/年	99	-	99	100	○
水使用量	m3/年	141.0	1%削減	139.6	111.0	○
化学物質使用量削減	t/年	0	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			-
グリーン購入	件数/年	2	環境配慮製品を優先して購入する。			-
環境に配慮した施工の推進	件数/年	-	環境に配慮した施工・工法を推進する。			-
地域貢献活動	件数/年	5		5	5	○

二酸化炭素排出量(電力)の算出に使用した係数 令和6年度東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/Kwh



※ 未達成の理由 二酸化炭素排出量 ----- 工事受注に伴う軽油使用量の増加。

Ⅳ. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果及び次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	① パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている	△	各自が努力して取組んでいるが、仕事量の増加に伴い二酸化炭素量も増えるため工事量と比較して数値設定を考えなければならない。取組状況は評価するが達成結果としては評価できない。
		② 夜間、休日はパソコン、コピー機、テレビ等の主電源を切っている		
		③ 冷蔵庫などは夏と冬で設定を切り替えている		
		④ 昼休みは消灯している		
		⑤ 夏場はクールビズをして冷房の使用を抑える		
	建設機械・車両用燃料等の二酸化炭素削減	① 送迎車両の運転は急発進・急停車をしない	△	非常によく取組んでいるが、業務量の増加などにより、目標未達成。次年は、 unnecessary 使用を徹底的に見直します。また、来年からは基準値を見直します。
		② 車両及び建設機械は過度な吹かしはしない		
		③ 燃料消費を考えた運搬経路		
		④ 建設機械のアイドリングストップの励行		
		⑤		
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	① 空調を必要な区域、時間帯に限定する	△	灯油使用量が目標未達成である。冬期間の暖房の使用を12月～3月までとするなど減少となるようにすること。
		② 使用してない部屋は空調を停止している		
		③ 冷暖房機器は適切な温度設定にしている		
		④		
		⑤		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	① 備品・事務用品購入時はバックを持参しビニール袋・紙袋の発生を抑制する	○	現場完成書類の印刷時に、ミスプリントとなるケースが見受けられるので、チェックして印刷する。その他はよく守られている。また、毎日重量を測定すること。また、シュレッダーを導入するなどして評価できる。
		② 発生したゴミは極力圧縮するなどして減量する		
		③ 使い捨て商品の購入を抑制する		
		④ ミスプリント紙の裏面利用をする		
		⑤		
	再資源化対策の推進	① 製品すべてを買換えるのではなく詰替え可能な部分だけを買ひ、また限り修理して長期間使用する	○	ゴミの分別も徹底されていてよい。ただ、個人の昼食のゴミなどは各自で処理すること。
		② コピー機・プリンター等のトナーカートリッジのリサイクルを図る		
		③ ゴミの分別の徹底を図る		
		④		
	建設廃棄物の最終処分量の削減	① 環境に優しい商品の購入をする	○	特に問題なく処理され、守られている。次年も取組を継続する。工事契約段階で廃棄物数量が決まっているため削減はできないが、確実に所定の場所にて処分している。
		② 廃棄物の処分を定期的に直接確認する		
		③ 現場から発生したコンクリート殻・アスファルト殻はもれなく産廃処理場に搬出する。また、自社の現場等の利用に反映させる		
		④		
節水	水道水の削減(節水)	① トイレの水流しは小用を使用する	○	目標達成しているが、これからも引き続き節水を心掛けること。
		② 来客などの食器類は一気に洗い、一気にすすぐ		
		③ 洗車時は泥を落としてから洗う		
		④		
		⑤		
排水	排水処理・水質汚濁等の防止	① 有害物質の混入がないようにする	○	特に問題なく処理され、守られている。また、河川現場では防油堤をせっちするなどしている。
		② 河川の現場では濁水処理のために沈殿池を設ける		
		③		
		④		
		⑤		
化学物質の管理推進	化学物質使用量の抑制及び管理	① 除草剤、殺虫剤などの使用を削減する	○	会社・現場ともに化学物質を使用することはなかったが、使用時には管理を徹底すること。
		② 現場における化学物質は必要最小限の留める		
		③ 有害性の化学物質の表示を徹底させる		
		④		
		⑤		
グリーン購入	環境物品の使用・購入の推進	① 3Rの資材の推奨	△	事務用品をはじめとして、リサイクル品・グリーンマークの商品の購入をこれからも心がけること。次年も取組を継続する。現場では、法面の使用材料に青森県認定リサイクル製品を使っています。
		② 県産品及び間伐材を利用した木製品の購入、使用		
		③		
		④		
		⑤		

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

3 環境活動の状況



● 会社周辺清掃活動



● 河川清掃活動(水辺サポーター)



● 地域ボランティア活動
(浅瀬石川クリーンの会)



● 現場での緊急防災訓練
(漏油時の緊急訓練)

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける建設リサイクル法等、下表の環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について問題がありません。

当社に関連する主な環境関連法規制等

法規等名	
①	建設リサイクル法
②	廃棄物処理法
③	オフロード法
④	フロン排出抑制法
⑤	設計図書・特記仕様書

Ⅵ 代表者による全体評価と見直しの結果

令和4年の豪雨による災害のため、令和5年度は工事受注高が前年比6千万増となりました。それにともない会社全体、現場における主な環境負荷が増加しました。エコアクション21の環境負荷の基準値も令和4年度の実績を新基準値として設定しました。

社員一人ひとりが環境問題として削減に積極的に取り組むようになりましたが、これからもより一層意識向上を図り、より良い循環型社会に当社も貢献できるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。